

2024年度_樹の子クラブ自己評価表_事業所全体の自己評価

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-----------------|---|--|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 定員を十分に収容できるスペースを確保している。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 人員の不足が懸念されるため、求人活動等によって人員の補充を図る。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 一部に段差などはあるが、現状で利用契約されている利用者様が生活する上では支障のない程度である。特に階段の手すりについては、近々での設置を目指す。 |
| 業務 改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 日々のミーティングなどで業務改善などについて職員全体で話し合いを行っている。今後も支援体制を調整しつつ、定期的な支援会議を実施していきたい。 |
| | ⑤ | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 保護者向け評価表の結果を踏まえて、問題点の改善に繋げていけるよう努めたい。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 事業所のホームページ等で公開している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 他機関に対して外部評価は依頼していないが、どのような形での外部評価が望ましいのか等については検討していく。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 児童福祉に関わる外部研修の受講や事業所内研修の企画などを行い、常に職員の資質の向上に努めている。 |
| | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか | ○ | | | およそ半年に1度の頻度で面談での聞き取り内容などに基づき、個別支援計画を作成している。 |

| | | | | | | |
|----------|---|--|--|---|--|--|
| 適切な支援の提供 | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 試験的に標準化されたアセスメントツール（具体的には Vineland- II や感覚 SP など）を導入し、定期的かつ定量的にアセスメントを実施している。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | ○ | | 基本的に児童発達支援管理責任者が中心となって活動を組み立てているが、ミーティングを通してチームで活動プログラムの検討もしている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 活動プログラムに変化をもたせ、多様な活動に柔軟に取り組めるよう努めている。新型コロナが落ち着き、徐々にこれまでよりも多様な活動を検討している。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | おおむね、平日や休日などに応じて、多様な活動を設定し、その中で活動に応じた課題を設定して支援できていると思われる。しかし、集団活動という性質上、きめ細やかに課題を設定しきれていない現状もあるので、改善したい。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか | | ○ | | 個別支援計画の新しいフォーマットが国から示されたこともあり、そのフォーマットの様式に従い計画を作成する。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | ○ | | 支援開始前のミーティングを、毎日実施している。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | 支援終了後に必ずミーティングを行い、支援の振り返りや細かな情報の共有を行なっている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | | ○ | | 日々の利用者様の状態像や支援内容に関して記録している。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか | | ○ | | 半年に 1 回、ご家族との面談等によるモニタリングを通して、個別支援計画の見直しに活かしている。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|--|---|--|
| | ⑱ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ | | | 運動や集団あそび、創作活動など多種の活動を組み合わせて支援を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | サービス担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が参画している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 学校が主催する説明会への参加や担当教員との連絡を行い、情報共有ならびに連絡調整をおこなっている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 人員配置の都合上、医療的ケアが必要な方は受け入れしていない。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 状況に応じて、情報交換の場を設けている。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | 卒業前までに就労先の支援者を対象とした引き継ぎ資料を作成し、相談支援員や保護者に渡している。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 発達障害者支援センターが主催する研修に参加するなどして、連携を図っている。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 現状においてそのような機会は設けられていない。しかし、地域のイベントに参加するなどの試みによって、交流するきっかけが作れるよう検討する。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 主に児童発達支援管理責任者が、可能な限り参加していた。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 連絡帳や送迎などの機会に利用者様の様子等に関して適時、情報交換を行っている。しかし、紙面や時間の制約から十分な共通理解を持っていない懸念もあるため、その問題が解消できる方法を模索していきたい。 |

| | | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|---|
| | ⑳ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | | 本年度は実施できなかったが、来年度は実施できるよう準備を進める。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉑ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時にご家族と一緒に運営規程などについて丁寧に説明している。 |
| | ㉒ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。 | ○ | | | 保護者から申し出や相談があった場合には助言や支援を行っている。今後は㉑にあるような機会を設けることで、より積極的に保護者の困り感を察知して支援できるように努めたい。 |
| | ㉓ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 現状では行っていない。保護者へのアンケート調査などを実施し、要望が一定数あれば検討していきたい。 |
| | ㉔ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | | ○ | | 保護者からの苦情があった場合、できるだけ早期に対応するように努めている。しかし、発生状況の確認などに時間がとられ迅速な対応が難しい場合もあるため、マニュアル化などを視野に入れ改善に努めたい。 |
| | ㉕ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 法人が定期的に発行している会報やホームページで、活動の概要等について発信している。 |
| | ㉖ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 個人情報には十分に配慮し、支援や会議を行っている。 |
| | ㉗ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 子どもに対してはそれぞれの特性に合わせて言葉だけでなく視覚刺激を活用した情報の提示などを行い、保護者に対しては連絡帳だけでなく電話やメールといった多様な伝達方法を活用し、柔軟かつ円滑に意思疎通ができるよう配慮している。 |
| | ㉘ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 現状では事業所の行事などは行っていないため、実施できていない。地域に開かれた事業運営ができるよう、今後も検討する。 |
| 非 | ㉙ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | 各種マニュアルを策定し、職員間では周知している。しかし、保護者への周知はできていないため、面談等の機会です |

| | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|--|---|--|--|---|
| 常 時 等 の 対 応 | | | | | 明するなどして周知に努めたい。 | |
| | ③9 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 避難訓練を定期的実施しているが、保護者に対してもきちんと実施状況などについて説明を行うようにする。 |
| | ④0 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 初任者研修等の内部研修や日々の支援における OJT を通じて、虐待が発生する支援上の課題を明確化した上で、虐待を予防するための適切な対応に関して児童発達支援管理責任者が指導している。 |
| | ④1 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | (突発的な場面を除いて) 日常場面において身体拘束の実施が考えられうる利用者様がいないため、個別支援計画には記載していない。 |
| | ④2 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | ○ | 食物アレルギーのある利用者様に関しては、おやつなどをすべて保護者より提供していただいたり、活動内容について保護者に確認をしたりすることで対応している。 |
| ④3 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | ヒヤリハット事例を作成し、ファイルにまとめて事業所内に保管することで、支援員がいつでも確認できるようにしている。また、ミーティングの際にヒヤリハット事例に関して、特に対応策などを支援員間で周知するよう努めている。 | |